



開講の挨拶

一般社団法人日本医薬品卸売業連合会
副会長

持続可能で安定した 医薬品供給体制を築き上げる

枝廣弘巳

本日は大変お忙しい中、当セミナーにご参加いただきまして誠にありがとうございます。

皆様には、日頃から卸連合会の運営に多大なご協力をいただいておりますこと、改めて御礼を申し上げます。私たち医薬品卸は、患者様へ安定的に医薬品をお届けすることを最大の使命として日々活動が続けていますが、昨今の社会構造の変化や医療ニーズの多様化を受け、流通システムの改善が急務となっています。医療機関や調剤薬局、さらには地域社会全体から一層信頼される供給体制を目指して、私たちも流通改善を進めてまいりたいと考えています。

また、高齢化が進む中で、地域包括ケアシステムの重要性が増していることを受け、私たちも医療DXを通じた地域連携の強化に取り組んでいます。例えば、デジタル技術の活用により、地域医療と患者様の情報共有がより円滑になることで、医療・介護サービスがシームレスに提供される環境が整うことが期待されています。私たちは地域の医療機関と密接に連携し、地域包括ケアシステムの一翼を担うことで、住民の皆様が安心して医療・介護サービスを受けられる仕組みを構築してまいりたいと考えています。

また、医療DXの推進は、私たち医薬品卸がさらなる業務効率化とサービス品質の向上を実現することになります。AIやIoTを活用した在庫管理や物流の

高度化により、供給体制を一層効率的に行えるだけでなく、災害時や緊急時における迅速な対応も可能となり、私たちが一層信頼されるパートナーとして、医療現場から認められることになると思います。

私たち卸連合会は皆様とともに、新たな未来を切り開くべく、今後も革新と挑戦を続け、持続可能で安定した医薬品供給体制を築き上げていきたいと考えています。引き続き、ご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

今年度の卸連合会セミナーのテーマは、「流通改善と医療DXビジョン」とさせていただきます。また、今回のセミナーは、講師による講演を聞いていただくだけでなく、皆様からの質問時間を多くとっております。まさに参加型のセミナーにさせていただきます。時間に限りはございますが、せっかくの機会ですので、皆様からの積極的なご質問をお願いいたします。

本日は、厚生労働省大臣官房医薬産業振興・医療情報審議官の内山様、東京科学大学医学部臨床教授、デジタルハリウッド大学大学院特任教授の加藤様、青山学院大学名誉教授の三村様にご講演いただきます。

本日のセミナーが皆様にとりまして、実り多いことを心から祈念いたしまして、開会の挨拶とさせていただきます。